コートジボワール国月報（２０１６年１１月）

|  |
| --- |
| 主な出来事【内政】●４日、コネ憲法院長は、１０月３０日に行われた新憲法に関する国民投票の最終結果について、賛成票９３．４２％、反対票６．５８％で採択され、コートジボワール共和国の憲法となったと発表した。●８日、大統領府にて、ウワタラ大統領による新憲法公布に関する大統領令署名式典が開催された。●２５日午後、ゴン＝クリバリ大統領府事務総長は、マブリ外務大臣、ニャミアン住居・社会住宅大臣解任の大統領令を発表した。【外政】●７日、ウワタラ大統領は、コートジボワール訪問中のトゥアデラ中央アフリカ大統領と会談し、中央アフリカの平和に関し協議した。●２２日、ウワタラ大統領は、パリでオランド仏大統領と二国間関係につき会談した。【経済】●２１日、ＥＵとの間でグッドガバナンスのための財政支援プログラムと、食品産業への開発支援プログラム、計５２０億ＣＦＡフラン（約１０４億円）の協定が締結された。●同２１日、アフリカ開発銀行（ＡｆＤＢ）と欧州投資銀行（ＥＩＢ）は、１，５１０億ＣＦＡフラン（約３０２億円）の"Boost Africa"プログラムを立ち上げた。●２１－２３日、アフリカ・インフラ開発プログラムの会合が開かれ、今後３年間でエネルギー分野と、回廊建設分野のインフラ強化のために約２１０億ドルが投資される意向が表明された。●２４日、コートジボワール公営企業と民間企業連合との間で、液化天然ガス供給インフラプロジェクトに関する協定が署名された。【対日関係】●２５日、「日コ友好交差点改善計画」の起工式が行われ、川村大使、ダンカン首相、アシ経済・インフラ大臣が出席した。●２９日、「中部・北部紛争影響地域の行政サービス改善のための人材育成プロジェクト」の引渡式がブアケ（中部）で行われ、村田臨時代理大使が出席した。 |

【内政】

・１日夜、バカヨコ独立選挙委員会(CEI)委員長は、新憲法に関する国民投票の暫定集計結果を発表した。投票率：４２．４２％、賛成票は２，４８０，２８７票で、９３．４２％、反対票は１７４，７１４票で、６．５８％。（フラテルニテ・マタン紙）

・４日、コネ憲法院長は、１０月３０日に行われた新憲法に関する国民投票の最終結果について、独立選挙委員会（ＣＥＩ）による暫定結果通り、賛成票９３．４２％、反対票６．５８％で採択され、コートジボワール共和国の憲法となったと発表した。（アビジャン発ＡＦＰ電）

・８日、大統領府にて、ウワタラ大統領による新憲法公布に関する大統領令署名式典が開催された。ウワタラ大統領は、ソロ国民議会議長、ダンカン首相以下閣僚、宗教団体、市民団体等の前で公布文書に署名した。（コートジボワール国営放送（ＲＴＩ））

・１８日、国家安全保障評議会（ＣＮＳ）は、テロ対策の一環として、車両１８９台とボート１６艘を憲兵隊及び警察に配備した。（フラテルニテ・マタン紙）

・２５日、独立選挙委員会（ＣＥＩ）は、総数１，３９１名の国民議会選挙（１２月１８日投票予定）への立候補を認めた。ＲＨＤＰ統一候補（ＲＤＲ、ＰＤＣＩ、ＭＦＡ）：１９９名、ＵＰＣＩ：２４名、ＵＤＰＣＩ：２０名（以上２党はＲＨＤＰに属しているが独自候補を擁立）、野党　ＦＰＩ：１４８名、ＬＩＤＥＲ：１３名、無所属：６７６名。（フラテルニテ・マタン紙）

・２５日午後、ゴン＝クリバリ大統領府事務総長は、マブリ外務大臣（ＵＤＰＣＩ党首）、ニャミアン住居・社会住宅大臣（ＵＰＣＩ党首）解任の大統領令を発表した。アモン＝タノー大統領府官房長（大臣）が外務大臣代理を、サノゴ建設・都市計画大臣が住居・社会住宅大臣代理を務める。（大統領府ホームページ）

・２８日、アビジャンで開催された記者会見において、マブリＵＤＰＣＩ党首（前外相）は、自らの解任に関し、政治的不和によるものと述べた。また、ＵＤＰＣＩはＲＨＤＰに留まると述べた。（ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙、ル・パトリオット紙）

【外政】

・７日、ウワタラ大統領は、コートジボワール訪問中のトゥアデラ中央アフリカ大統領と会談し、中央アフリカの平和に関し協議した。トゥアデラ大統領は、訪問の目的について、コートジボワールから危機脱出について学び、また、パートナー機関等に対し中央アフリカへの開発に向け支援を要請するためと述べた。ウワタラ大統領は、コートジボワールの経験について意見交換するよい機会になると述べた。（フラテルニテ・マタン紙他）

・１１日、ウワタラ大統領は、コートジボワール訪問中のティエバ・ブルキナファソ首相と会談した。ティエバ首相は、１２月７－８日にパリで開催予定のブルキナファソ国家経済・社会開発計画の融資のための会合の開催に関し、ウワタラ大統領から助言を受けることが今次訪問の目的と述べた。（フラテルニテ・マタン紙）

・２２日、ウワタラ大統領は、パリでオランド仏大統領と二国間関係につき会談した。会談後、ウワタラ大統領は、コートジボワールは国際刑事裁判所（ＩＣＣ）から脱退しないと述べた。（フラテルニテ・マタン紙）

・２３日、ウワタラ大統領は、赤道ギニアで開催されたアフリカ・アラブ・サミットに出席した。同サミットでは、アラブ投資家に対し、コートジボワールへの投資を呼びかけると共に、アラブ諸国に対し、コートジボワールの安保理非常任理事国入りへの支持を要請した。（フラテルニテ・マタン紙）

【経済】

・１６日、米国国際開発庁（ＵＳＡＩＤ）とOikocredit開発協同組合は、１２０億ＣＦＡフラン（約２４億円）の融資合意に署名した。西アフリカのカシューナッツ、家畜、マンゴー、シア、穀物等を手がける小規模農家への３年間の貸付等に活用される。（ランテール紙）

・２１日、ダンカン首相臨席の下、コネ経済・財政担当大臣と、ＥＵ国際協力・開発局長との間で計５２０億ＣＦＡフラン（約１０４億円）の２つの協定が締結された。グッドガバナンスのための３９０億ＣＦＡフラン（約７８億円）の財政支援プログラムと、食品産業への１３０億ＣＦＡフラン（約２６億円）の開発支援プログラム。（フラテルニテ・マタン紙）

・同２１日、アフリカ開発銀行（ＡｆＤＢ）と欧州投資銀行（ＥＩＢ）は、１，５１０億ＣＦＡフラン（約３０２億円）の"Boost Africa"プログラムを立ち上げた。アフリカの３，０００社の中小企業及び新興企業を支援するもの。（フラテルニテ・マタン紙）

・２１－２３日、アフリカ・インフラ開発プログラム（ＰＩＤＡ）の会合が開かれ、今後３年間でエネルギー分野と、回廊建設分野のインフラ強化のために約２１０億ドルが投資される意向が表明された。（フラテルニテ・マタン紙）

・２３日、世界食糧計画（ＷＦＰ）西アフリカ地域局長は、ダンカン首相及びカマラ国民教育大臣との会談の場で、ＷＦＰが前週、今後４年間での４８０億ＣＦＡフラン（約９６億円）の対コートジボワール新規プロジェクトを承認したことを発表した。（フラテルニテ・マタン紙）

・同２３日、保健・公衆衛生省に対し、１０億１，３００万ＣＦＡフラン（約２億２６０万円）の機材が供与された。エボラ出血熱対策として、世界銀行から支援を受けた５０億ＣＦＡフラン（約１０億円）の残金を活用し、車両やコンピューター等が贈られた。（フラテルニテ・マタン紙）

・２４日、コートジボワール公営企業（PETROCI Holdings及びCI Energie社）と民間５社（TOTAL、SHELL、SOCAR、GOLAR、ENDEAVOR）からなる企業連合との間で、液化天然ガス供給インフラプロジェクトに関する協定が署名された。事業費は２億ドルと見積もられ、Cote d'Ivoire GNL（株式保有率：PETROCI Holdings及びCI Energie社が１６％、TOTALが３４％、SHELLが１３％等）が浮体式貯蔵再ガス化施設、停泊施設、ガス移送パイプライン等を取り扱う。（フラテルニテ・マタン紙、ヌーヴォー・レヴェイユ紙）

・３０日の閣議にて、国際開発協会（ＩＤＡ）との間の２つの融資契約が批准された。一つ目は８月に締結された、アビジャン－ワガドゥグ回廊の輸送近代化・通商円滑化計画に関する１７３億ＣＦＡフラン（約３５億円）の融資契約。二つ目は９月に締結された、インフラ再生緊急計画への３５３億ＣＦＡフラン（約７０億円）の融資契約。また、８月に締結された、インド輸出入銀行による１，１８０億ＣＦＡフラン（約２３６億円）の融資契約も批准された。５年間で５万台の自動車駐車場を整備するもの。（フラテルニテ・マタン紙）

【対日関係】

・２５日、「日コ友好交差点改善計画」の起工式が行われ、川村大使、ダンカン首相、アシ経済・インフラ大臣が出席した。日本からの５０億３，８００万円の無償資金協力で、２０１４年１月の安倍総理のコートジボワール訪問時に約束されたもの。（フラテルニテ・マタン紙）

・２９日、「中部・北部紛争影響地域の行政サービス改善のための人材育成プロジェクト」の引渡式がブアケ（中部）で行われ、村田臨時代理大使が出席した。本プロジェクトでは日本が約９億円とコートジボワールが１．３億円負担し、教室の建設・改修や機材整備等を行った。（フラテルニテ・マタン紙）